

平成30年度

鹿児島大学大学院農学研究科（修士課程）

推薦による選抜

生物資源化学専攻

生物環境学専攻

学 生 募 集 要 項

鹿児島大学大学院農学研究科

鹿児島大学大学院農学研究科入学者受入方針（アドミッションポリシー）

農学研究科は、人の健全な生活の基盤である農林業、食、環境、生命科学などの分野に関する高度な専門教育を行い、農学が取り扱う分野における高度な研究・開発能力を備え、地域に貢献できる人材、さらには世界で活躍できる人材を養成することを教育目標とする。

【農学研究科】

農学研究科では、人の健全な生活の基盤である食、環境、生命科学などの分野に関して基本概念と知識を修得しており、また高い関心を持つ以下のような学生を求めている。

- (1) 農学が取り扱う学問領域の中の専門分野について十分な学力を有している人
- (2) 農学が取り扱う学問領域の中の専門分野に関する語学（特に、英語）について十分な能力を有している人
- (3) 農学が取り扱う学問領域の中の特定の研究課題について取り組む意欲のある人

【生物生産学専攻】

生物生産学専攻では、農産物や家畜の生産、管理、流通に指導的立場で携わり、また関連の分野の研究を自立して遂行できる専門職業人・研究者等、国内外で活躍できる高資質の人材の育成を教育目標とする。

生物生産学専攻の求める人材像

- (1) 学部教育で培われた語学力、専門的知識・技術を備えている人
- (2) 栽培、飼育、実験もしくは調査に関する科学的探求心や知的好奇心を持つ人
- (3) 農業や食料生産及び農産物流通に関心を持ち、問題解決に取り組める人
- (4) 農村地域や農村社会に関心を持ち、問題提起ができる人
- (5) 農産物や家畜の生産に関する新技術やバイオテクノロジーの修得に関心を持ち、さらなる応用・展開に取り組める人

【生物資源化学専攻】

生物資源化学専攻は、動植物・微生物の構成成分とその機能、食品の製造・栄養と機能、農産物の生産・保存・利用、土壌とその機能などに関する分野で活躍できる専門職業人や研究者の育成を教育目標とする。

生物資源化学専攻の求める人材像

- (1) 生命現象、バイオテクノロジー、食品に関する十分な学力を備えている人
- (2) 生命現象、バイオテクノロジー、食品に関する特定の研究課題に取り組む意欲のある人
- (3) 動植物・微生物の生命現象や食料、食品、発酵に高い関心を持つ人
- (4) バイオテクノロジーの新技術に高い関心を持つ人

【生物環境学専攻】

生物環境学専攻は、森林の利用と保全、人間を取り巻く自然・生活環境の改善と維持、ならびに農業生産基盤と農産物の生産・加工・保存技術に携わる高度専門技術者や研究者の育成を教育目標とする。

生物環境学専攻の求める人材像

- (1) 森林生態系の機能と構造ならびに森林資源の管理や利用に関する興味と研究への意欲を持つ人
- (2) 木質資源の循環型利用と高度利用、居住空間の環境改善、森林による水土保全、土砂災害防止等に関心のある人
- (3) バイオマス資源の利活用、食品の安全・品質の確保、環境や生体情報の解析等に意欲のある人
- (4) 水資源の利用管理と水環境の保全、農地の保全と管理に興味があり研究への熱意をもつ人

目 次

	頁
I 募集人員	1
II 出願資格	1
III 推薦要件	1
IV 出願書類等	2
V 出願手続	3
VI 選抜方法	3
VII 合格者発表	3
VIII 入学手続	4
IX 出願上の留意事項	4
X その他	4
専攻・講座等名及び講座等の内容	6
教育研究分野の内容	7
入学者選抜試験個人成績の開示	9
出願書類様式	
個人情報の取扱いについて	
検定料の払込みについて	

入学者選抜実施日程

出願期間	平成29年5月15日(月)～19日(金)
選抜実施日	平成29年7月6日(木)
合格者発表日	平成29年7月21日(金)
入学手続日	平成30年3月上旬

I 募集人員

研究科名	専攻名	講座等名	教育研究分野	募集人員
農 学 研 究 科	生物資源化学	生命機能化学	生分子機能学 応用分子微生物学 応用糖質化学 生命高分子化学 ナノ・バイオテクノロジー	若干人
		食品機能化学	食品分子機能学 栄養生化学・飼料化学 食品化学 先端バイオテクノロジー（分子生物学）	若干人
		食糧生産化学	土壌科学 植物栄養・肥料学 食品保蔵学	若干人
		焼 耐 学	焼酎製造学 醸造微生物学	若干人
	生物環境学	森林管理学	育林学 森林計画学 森林政策学 森林保護学	若干人
		地域資源環境学	木質資源利用学 砂防・森林水文学	若干人
		環境システム学	農業環境システム学 食料環境システム学 環境情報システム学	若干人
		生産環境工学	利水工学 農地工学	若干人

募集人員の若干人は、一般選抜（1次）学生募集要項の募集人員に含まれる。

II 出願資格

次の各項のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び平成30年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）

III 推薦要件

推薦による選抜を志願できる者は、志願者が上記IIの出願資格を有し、志願する専攻の専門教育を受け、入学を確約できる者で、下記のいずれかに該当すること

- (1) 優以上の単位取得率が7割以上の優秀な成績を修めていること
- (2) 高等専門学校の専攻科を修了又は修了見込みの者にあつては、優以上の単位取得率が7割以上の優秀な成績を修めていること
- (3) 特定の研究分野に優れていること

IV 出願書類等

区	分	備 考
①	入 学 願 書 履 歴 書 入 学 志 願 者 写 真 票 受 験 票	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の用紙に必要事項を記入すること ・写真（5cm×4cm）は上半身・脱帽・正面向きで出願前3か月以内に撮影したものを貼付すること
②	出身学校の成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・発行者において厳封したもの（改ざん防止用紙で作成してある場合は厳封不用）
③	志 望 理 由 書	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の用紙を用いて以下の内容を1000字程度でまとめること ア) 推薦要件（1）（2）に該当する志願者は「志望動機・大学院で学びたいこと」 イ) 推薦要件（3）に該当する志願者は「志望動機・大学院で学びたいこと」及び「卒論・研究等の概要」（研究内容と主な成果）
④	卒 業 証 明 書 又 は 卒 業 見 込 証 明 書	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学長（学部長・校長）が作成したもの（本学農学部を卒業見込みの者は不要） ・出願資格（2）に該当する志願者は次の書類を提出すること 学位取得者：「学位記」の写し又は「学位取得証明書」 学位取得見込者：在籍する短期大学又は高等専門学校の長が発行する「修了見込証明書」及び「学士の学位の授与を申請する予定である旨の証明書」
⑤	推 薦 書	<ul style="list-style-type: none"> ・本学農学部からの志願者は講座主任，指導教員が作成し厳封したもの ・本学農学部以外からの志願者は，出身大学長（学部長・校長）が作成して厳封したもの
⑥	入 学 検 定 料 納 付 確 認 票	<ul style="list-style-type: none"> ・入学検定料は30,000円です ・本学所定の用紙を用いて郵便局窓口で検定料を払い込み，受け取った「振替払込受付証明書（お客さま用）」を「入学検定料納付確認票」に貼付して提出してください。その際，日附印欄の押印を確認してください ・既納の入学検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還できません ア) 入学検定料を払い込んだが，出願しなかった場合 イ) 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合
⑦	宛 名 シ ー ル	<ul style="list-style-type: none"> ・募集要項に添付された「宛名シール」に郵便番号・住所・氏名を記入し提出すること
⑧	返 信 用 封 筒	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便番号・住所・氏名を明記の上，362円分の切手を貼付した長形3号封筒を同封すること
⑨	そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・日本に在住する外国人は市区町村長の発行する「住民票の写し」（在留資格が記載されたもの）を，その他の者はパスポートの写しを身分証明書として提出すること

V 出願手続

(1) 出願期間

平成29年5月15日(月)～平成28年5月19日(金)

受付時間 9時～16時

郵送の場合は「速達書留」とし、平成29年5月19日(金)17時までに必着とします。

(2) 提出先

上記書類を一括して所定の期日までに農学部・共同獣医学部等学務課学生係へ提出してください。

郵送の場合：〒890-0065

鹿児島市郡元一丁目21番24号

鹿児島大学農学部・共同獣医学部等学務課学生係

VI 選抜方法

(1) 入学者の選抜は、口頭試問により行い、合否を判定します。また、出願書類は選抜の際の基礎資料とします。

(2) 口頭試問の日時・場所

試験区分	月 日	時 間	試 験 場
口 頭 試 問	平成29年7月6日(木)	10時～	鹿児島大学農学部 (詳細は別途通知します)

(3) 口頭試問は「A・B・C」の三段階で評価し、AおよびBの者を合格、Cの者を不合格とします。

VII 合格者発表

平成29年7月21日(金)10時

農・獣医共通棟正面玄関に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者本人に合格通知書を郵送します。

また、鹿児島大学農学部ホームページ(<http://www.ace1.kagoshima-u.ac.jp/>)にも掲載します。

なお、電話・メール等による合否の問い合わせには一切応じません。

VIII 入学手続

合格者への入学手続等関係書類は、平成30年2月中旬に送付する予定です。

(1) 入学手続期間 平成30年3月上旬

(2) 納付金

入学料 282,000 円 (入学料改定が行われた場合は、改定額が適用されます。)

授業料 535,800 円 (前期 267,900 円・後期 267,900 円)

(授業料改定が行われた場合は、改定額が適用されます。)

願い出により選考の上、免除される制度があります。

在学中に授業料改定が行われた場合は、新授業料が適用されます。

詳しくは入学手続き時に案内します。

IX 出願上の留意事項

(1) 出願書類を郵送する場合は「速達書留」とし、封筒の表に「大学院農学研究科入学願書在中」と朱書きしてください。

(2) 出願書類等に不備があるものは受け付けません。

(3) 出願書類受理後は、いかなる理由があっても記入事項及び書類の変更は認めません。また、検定料の払い戻しは行いません。

出願書類の請求は、封筒に「修士課程学生募集要項請求」と朱書きし、宛名明記の返信用封筒(角型2号封筒に205円分の切手を貼付け、速達の場合は485円分の切手を貼付け)を同封の上、下記宛請求してください。

請求先：〒890-0065

鹿児島市郡元一丁目21番24号

鹿児島大学農学部・共同獣医学部等学務課学生係

TEL:099-285-3553 FAX:099-285-3533

E-mail:nkgaku@kuas.kagoshima-u.ac.jp

X その他

(1) 教員免許状

教員免許法及び同施行規則に定める所定の単位を修得し、各専攻において所定の単位を履修した者は、高等学校教諭専修免許状(農業、理科、工業)及び中学校教諭専修免許状(理科)を取得することができます。

専攻	免許状の種類	免許教科
生物資源化学	中学校教諭専修免許状	理科
	高等学校教諭専修免許状	農業、理科
生物環境学	中学校教諭専修免許状	理科
	高等学校教諭専修免許状	農業、理科、工業

(2) 障害を有する入学志願者の事前相談

障害（下表参照）がある場合は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、あらかじめ本学部にご相談してください。なお、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用しての受験を希望する場合も事前相談が必要です。

区 分	障 害 の 程 度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね0.3未満又は視力以外の障害が高度なもので、拡大鏡等を使用しても文字等を認識することが不可能または著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもので、補聴器等を使用しても通常の話声を理解することが不可能または著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	1 肢体不自由の状態が、補装具を使用しても歩行等日常生活における基本的な動作が不可能または困難な程度のもの 2 前号の程度未満で、常時の医学的な観察指導を必要とする程度のもの
病弱者 〔身体虚弱者を含む〕	1 疾患の状態（慢性の呼吸器系疾患等）が、継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2 身体虚弱の状態が、継続して生活規制を必要とする程度のもの

※学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠しています。

①時 期

相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、特別な配慮が講じられないことがありますので、平成29年5月8日（月）までに相談してください。

②方 法

電話または本学部での相談いずれでもかまいませんが、下記事項等を記載した書類（様式任意）を提出していただく場合があります。

- ア. 氏名、生年月日、志願する研究科の分野名
- イ. 障害の種類・程度（医師の診断書が必要な場合があります）
- ウ. 受験の際、特別な配慮を希望する事項及び内容
- エ. 大学等在学中にとられていた特別な配慮
- オ. 日常生活の状況
- カ. 本人の現住所及び電話番号、保護者の連絡先
- キ. その他参考書類（身体障害者手帳等の写し）

③ 問い合わせ先

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番24号
鹿児島大学農学部・共同獣医学部等学務課学生係
TEL:099-285-3553 FAX:099-285-3533

専攻・講座等名及び講座等の内容

生物資源化学専攻

講座等名	講 座 等 の 内 容
生 命 機 能 化 学	多様な生命機能の解明と、その応用をめざす。生体成分の分離分析，微生物や細胞系の遺伝子分離や機能開発，新たな生物資源の利用と物質生産を通じて，化学的見地からバイオサイエンスの基礎と応用の教育研究を行う。
食 品 機 能 化 学	「食と健康」の立場から，食品，食品素材，飼料に含まれる機能性成分の分離と同定ならびに食品・飼料の栄養機能，生体調節機能，遺伝子制御機能及び先端バイオテクノロジー技術を生かした食品機能の開発，さらに食品・飼料の安全性，加工，新素材開発について教育研究を行う。
食 糧 生 産 化 学	食糧生産の原点である土壌から植物の栄養，ポストハーベストまで物質循環を基本とし，地球環境に配慮して，理化学，生化学的手法に基づいて安全，高品質な食糧の持続的供給をめざした教育研究を行う。
焼 酎 学	焼酎製造技術の修得や世界の酒との比較を通じて焼酎の独自性を学ぶとともに，これからの発展に向けた製造技術の開発を行う。 また，麹菌や酵母を研究対象として，有用微生物の収集や育種を行い新たな酒質の創造を図るとともに，醸造微生物の新たな可能性を探る。

生物環境学専攻

講 座 名	講 座 の 内 容
森 林 管 理 学	生物・生態学的側面からの森林の解明，循環的な森林利用・再生産のための技術・管理計画，森林・林業に関わる社会経済・政策研究を通じて，森林の保護及び利用における人間の関与のあり方について教育研究を行う。
地 域 資 源 環 境 学	地域資源がもつ多様な機能を，土地保全，水資源涵養，居住空間の環境改善や環境に適合した高機能性木質材料の開発など，循環系として広範囲にわたった有効活用の視点から，理工学的手法を基礎に教育研究を行う。
環 境 シ ス テ ム 学	食料生産・消費活動の中で地域資源循環型社会を構築するため，バイオマス資源や自然エネルギーの利活用，食品の安全・品質の確保と有機廃棄物の有効利用，農林業の生産における環境情報と生体情報の解析にあたり，これらを系統的に思考できる人材の育成を目的とした教育研究を行う。
生 産 環 境 工 学	農業農村の多面的機能の評価，及び生物生産の基礎となる土地資源及び水資源の保全，整備及び有効利用のための理論と技術の確立に関して，理工学的手法に基づいた教育研究を行う。

教育研究分野の内容

生物資源化学専攻

専攻	講座等	教育研究分野	指導教員	分野の内容
生物化学	生命機能学	生分子機能学	南 雄二 加治屋勝子	生理活性物質の構造，機能及び活性発現機構の解明 生体機能性物質の構造と機能性発現機構の解析ならびに 生命科学への応用
		応用分子微生物学	石橋松二郎 鶴丸 博人	微生物及び関連した機能の遺伝子レベルでの解明，有用物 質生産，醸造・環境科学への貢献
		応用糖質化学	北原 兼文 藤田 清貴	糖質資源の化学と利用，特に根菜類の澱粉・細胞壁多糖の 構造と機能及びビフィズス菌による難消化性糖質の代謝 機構の解明
		生命高分子化学	安部 淳一 花城 勲	澱粉の分子構造，生合成と分解酵素の機能の解明，遺伝子 操作による酵素の機能改良と新機能性澱粉の創製
		ナノ・バイオテクノロジー	M. C. Mフェスタ ーガード	食品や農業分野等におけるバイオセンサーおよびバイオ ミメティック技術の応用
資源化学	食品機能学	食品分子機能学	侯 徳興 坂尾こず枝	動植物成分の持つ生体調節機能について個体・細胞レベル から遺伝子発現制御レベルでの解明及び機能性食品開発 への利用
		栄養生化学・飼料化学	大塚 彰 井尻 大地	未利用飼料資源および新規飼料添加物の評価，動物の初期 成長における栄養，体タンパク質ならびに脂質の代謝調節 に関する分子機構
		食品化学	イブラヒム ヒッサム 宮田 健	食品タンパク質の構造と機能の解明および機能性ペプチ ドの生理作用と有効利用
		先端バイオテクノロジー (連携大学院)	峰野 純一 榎 竜嗣 大野木 宏	先端バイオテクノロジーを用いた食品成分の機能性解明 と開発，細胞遺伝子工学の先端技術開発研究 連携先：タカラバイオ (株)
化学	食糧生産化学	土壌科学	境 雅夫 池永 誠	土壌生態系の構造と機能の解析および土壌微生物機能の 植物生育と環境保全への利用
		植物栄養・肥料学	樗木 直也 赤木 功	植物の栄養生理と生理障害に関する研究，肥料資源の有効 利用，農耕地における各種元素の分布と作物生育への影響
		食品保蔵学	渡部 由香 濱中 大介	農産物およびその加工食品の保存期間延長法の開発と含 有機能性成分の解析，食中毒や腐敗原因となる微生物の増 殖特性の解析および殺菌処理法の開発
学	焼酎学	焼酎製造学	高峯 和則 吉崎由美子 奥津 果優	新規製造システムの開発，長期熟成に適した酒質の開発， 焼酎の香気成分の同定と生成挙動の解明，焼酎副産物の有 効利用，発酵食品の機能性物質の検索
		醸造微生物学	玉置 尚徳 二神 泰基	醸造微生物に関する機能の分子・細胞レベルでの解明と育 種への応用

生物環境学専攻

専攻	講座	教育研究分野	指導教員	分野の内容
生物	森林管理	育林学	藤澤 義武 鶴川 信	樹木の生態的特性, 木本群落の動態, 森林生態系の物質循環の解明を通じた森林の保全・育成技術の高度化
		森林計画学	寺岡 行雄 岡 勝 加治佐 剛	森林資源の持続的な利用のための森林計測と計画技術, および森林利用や林業生産技術の探究
		森林政策学	枚田 邦宏 井倉 洋二 奥山洋一郎	森林資源の多面的利用の現状と構造に対する社会科学的側面からの分析, およびこれに基づく持続的な森林管理のための政策の検討
		森林保護学	畑 邦彦	森林に生息する動物や微生物の生態や森林生態系の動態に果たす役割の解明, および森林生態系保全技術の体系の確立
環境	地域資源環境学	木質資源利用学	西野 吉彦 服部 芳明	木質資源の機能, 特性の解明, 環境に適合した先端的技術, ならびにゼロエミッションの考え方を取り入れた生活環境の機能向上への応用
		砂防・森林水文学	地頭菌 隆 寺本 行芳	地域防災, 火山地域における土砂災害の発生機構と予測, 流域管理のための森林の機能解明とその活用
学	環境システム学	農業環境システム学	岩崎 浩一 末吉 武志	バイオマス資源と自然エネルギー利用などを中心に農業生産における環境問題を系統的に解決する手法の開発
		食料環境システム学	紙谷 喜則	食品の安全・品質の確保と有機廃棄物の有効利用などを中心に食料生産・流通において発生する環境問題を系統的に解決する手法の開発
		環境情報システム学	芝山 道郎 神田 英司	農林業の生産における環境情報と生態情報の解析により生じる問題を系統的に解決する手法の開発
学	生産環境工学	利水工学	靱井 和朗 伊藤 祐二	水環境制御システムの理論の確立及び水資源の保全と有効利用
		農地工学	肥山 浩樹 平 瑞樹	農業や農村の持つ多面的機能の評価及び土環境の整備や保全技術の確立

※ 各指導教員の研究内容については鹿児島大学のホームページから「鹿児島大学研究者総覧」を参照してください。アドレスは <http://ris.kuas.kagoshima-u.ac.jp/>

入学者選抜試験個人成績の開示

平成30年度入学者選抜に係る受験生の個人成績を次の要領で開示します。

1. 開示内容

個々の科目の得点又は評価と総合得点を開示します。

2. 開示期間

開示期間は合格発表後2ヶ月間です（平日の9時から16時）。

3. 開示請求者

開示請求者は受験生本人に限ります（代理人による請求は認めません）。

4. 開示方法

(1) 直接窓口で請求される場合

「平成30年度鹿児島大学大学院農学研究科受験票」を必ず持参して、農学部・共同獣医学部等学務課学生係にお越しください。

(2) 郵送で請求される場合

下記の①～③を揃えて、必ず「簡易書留」とし、封筒の表に「入試情報開示請求」と朱書きし、郵送してください。ただし、開示期間中の消印のあるものに限り受け付けます。

① 大学院入試情報開示請求書（様式は次頁のとおり）

② 平成30年度鹿児島大学大学院農学研究科受験票

③ 返信用封筒（長形3号封筒に392円分の切手を貼付し、受験生の住所、氏名を明記したもの）

※郵送による請求の場合は、本人確認のため、問い合わせをする場合がありますので、必ず電話番号（携帯可）を記入してください。連絡が取れない場合、開示できないことがあります。

(3) 請求先

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番24号

鹿児島大学農学部・共同獣医学部等学務課学生係

5. その他

平成29年度以前の入学者選抜試験個人成績は開示しません。